

皆さん、おはようございます。

2018 年も終わろうとしています。学校は、4 月始まり 3 月終わりなので、年末年始は、通過点なのですが、せっかくですので、この 1 年を振り返るのもいいでしょう。皆さんにとって、2018 年は、いかがでしたか。私は、皆さんのおかげで、とても楽しい 1 年でした。暁高の校長であることの幸せを、しみじみとかみしめているところです。ただ個人的に、この 1 年で何が変わったといえば、人間ドックの数値が変わったくらいで、何の成長もしていない自分が恥ずかしいです。皆さんは、どうでしたか。何か変わりましたか。イギリスの冒険家ラポックは、「他人と比較して、他人が自分より優れていたとしても、それは恥ではない。しかし去年の自分より今年の自分が優れていないのは、立派な恥だ。」と語っています。恥は、言い過ぎかもしれませんが、他人との比較ではなく、自分自身との比較を通して、成長することの大切さを述べた言葉ですね。

暁高の 1 年を振り返る意味で、皆さんには、授業アンケートや暁高アンケートなどのいろいろなアンケートに協力していただきました。その結果をよく分析し、暁高をもっと良くするためにどうすべきかをよく考えて、皆さんには「暁高に入って良かった」、中学生には「暁高に入りたい」と思ってもらえるような学校に、なお一層していきたいと思います。ご協力、ありがとうございます。

さて、明日 12 月 22 日は、冬至です。一年で昼が最も短い日ですね。ということは、冬至を過ぎると、一日一日、日が長くなります。まだしばらくは、かかると思いますが、これから、朝、学校に来るときとか、夕方、学校から帰るときに、「あれ、今日はなんだか、昨日より明るくなっているな。」と、感じることでしょう。私は、寒い中にも、日に日に春の訪れを感じることができる、これからの季節が結構好きです。さて、ここで問題です。「冬至を過ぎ、日が少しずつ長くなって春の訪れを感じること。あるいは冬至そのもの。」を表す四字熟語は、何でしょうか。分かった人、せーので教えてください。行きますよ。せーの……。もちろん「一陽来復」ですね。

昔から冬至には、ゆず湯に入ったりとか、カボチャや大根を食べたりとか、いろんな風習があります。太陽の力が最も弱まる冬至を過ぎると陰が極まり陽に転じるという、この「一陽来復」の考え方が根本にあるのだそうで、この日を境に運氣も上昇し、物事が良い方向に向かうと信じられていました。それに合わせて、滋養のある食べ物を摂ってゆっくり養生して過ごそうということでしょう。昔の人は、今の我々よりも、季節の移ろいや、太陽や月、星などの宇宙の営みに、敏感だったようですね。年末年始は、空気が澄んでいるので、天気が良ければ、夜、気分転換に星を見るのもいいかもしれません。ただし、十分暖かくしてくださいね。

3 年生、いよいよ、センター試験が近づいてきました。なかなか志望校との距離が縮まらず、悩んでいる人もいることでしょう。でも、現役生はこれから加速度的に、力がついてきます。自分を信じて、年末年始、焦らずコツコツと、ムリ・ムダ・ムラがないように、計画的に取り組んでください。そんな 3 年生に、そして 1 年生、2 年生にも、漫画「鋼の錬金術師」第 108 話「旅路の果て」の、エドワード・エルリックのセリフを紹介します。

「方法はあるはずだ……。必ず……。考えろ考えろ考えろ 思考を止めるな！！」

「鋼の錬金術師」の荒川弘先生は、私の好きな作者のお一人で、連載中の「銀の匙」や「アルスラーン戦記」もいいですね。

ではまた、1 月 8 日に、元気な姿でお会いしましょう。

“I wish you all a Merry Christmas and a Happy New Year. See you.”